

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、動きや情報を提供します。



避難所開設運営訓練について

本市では平成 29 年から地区分けを行い、各自治会や自主防災組織の人たちを中心に訓練実行員会を結成し、将来発生する災害に備えて地域を中心とした避難所の開設運営訓練を行っています。令和 6 年度は平和地区、今年度は郡山第 3 地区の一部と第 5 地区を対象とし、令和 7 年 11 月 15 日(土)に郡山北小学校で実施します。

今年も地区訓練の開催にあたり、各自治会長に集まっていたき、今年の 7 月から地区訓練について様々な協議を行ってきました。災害発生時には誰がどこで被災するかわかりませんし、必ず混乱が生じます。そのためにも、平時から地域の住民や周辺自治会と顔の見える関係の構築をはかり、地域ぐるみで災害を乗り越えていくために、訓練を実りあるものにしていきましょう！！

～訓練内容～

- ・地域住民による避難所の開設
- ・地域住民による避難所運営に必要な役割分担
- ・備蓄資機材の確認
- ・エコノミー症候群対策→消防団による避難所体操 等

生駒市の避難所訓練に参加してきました。

令和 7 年 11 月 1 日(土)、生駒市「滝寺S. C.」の体育館において地震による停電・断水を想定した避難所訓練に参加してきました。

電気、空調を切り、明かりは蓄電池を使用した投光器による明かりのみ。断水のため、トイレは水洗が使えず、トイレ処理剤を使用しました。避難した市民は寒さ対策で、生駒市が備蓄しているアルミのシートを床に敷き、寒さをしのいでいました。避難所の受付や生駒市の備蓄資機材、避難所運営の仕方等、勉強になることばかりでした。本市でも参考にし、今後の防災訓練に役立てていきたいです。

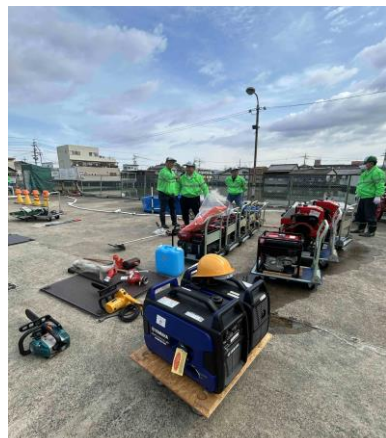


筒井南市場自主防災会の防災訓練を見学しました。

令和 7 年 11 月 2 日(日)に南市場自主防災会の訓練を見学してきました。本市の自主防災会の中でも古くから地域主体で活動しており、なんと訓練はコロナ期を除き、今回が第 20 回目の節目を迎えます。訓練では備蓄資機材の紹介や使用方法について参加者の住民に説明を行い、最後には隣接する池に向かい放水を行っていました。参加した子供たちは水消火器を使い、的を狙って疑似消火を体験していました。偶数月の第二日曜には資機材点検を欠かさず行っていると聞きし、感服しました。

地域との関わりが希薄になってきているご時世ですが、このような活動を今後も続けていただき、「共助力」を高めていきましょう！

今回訓練にお声かけいただいた自主防災会の役員の皆様、ありがとうございました。



自治会などの防災出前講座依頼も受付中！

少人数でも訪問します。災害対策課までご相談ください。

このニュースは、災害対策課、市内の各支所、矢田コミュニティ会館、南部公民館で配布しています。また、市のHPでもご覧になれます。

大和郡山防災ニュース 🔍 検索

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ！』をご覧ください。

大和郡山市消防団へようこそ 🔍 検索